# Overview

### みどりのテーブルとは?





『みどりのテーブル』は2026年度に開催 される「全国都市緑化フェアin京都丹 波」に向け開催するプログラムです。トー クやワークショップを通して、私たちをとり まく文化や生活、自然との関係、ものの 見方や考え方を見つめ直します。各分 野で先駆的な活動を行う専門家やアー ティストがゲスト講師となり「緑化とは何 か?」「なぜ私たちには緑が必要なの か?」という根本的な問いを手がかりに、 参加者と共に「緑」ある豊かな暮らしを 探ります。

2025年度『みどりのテーブル』は「全国 都市緑化フェアin京都丹波」の柱である 「環境」「食農」「芸術」の3つを軸に全4 回にわたって開催します。

亀岡の自然の中に身を置き、共に手を 動かし、食を囲み対話することで、新た な視点を共有しましょう。



かめおか霧の芸術祭とは?



かめおか霧の芸術祭の開催地である 京都府亀岡市は、山々に囲まれた自然 豊かな盆地で寒暖差が大きく、晩秋か ら初春に連日「霧」がみられます。その 「霧」を地域の象徴として、2018年から 年間を通じて、様々な活動を行ってい

かめおか霧の芸術祭では、「作品」だ けではなく「先人の知恵」や「職人の技」 「農村の美しい風景」など、形のないも のや日々の暮らしを豊かにしてくれるも のも"芸術"として捉え、文化芸術の振 興だけでなく、地域課題をアートの力を 通じて解決していく「場」づくりにも取り 組んでいます。







# 全国都市緑化フェアとは?



「全国都市緑化フェア」とは、緑化意識の高揚、都 市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、 地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を 全国的に推進し、緑豊かなうるおいのある都市づく りに寄与することを目的として、昭和58年(1983年) から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭 典です。2026年度には亀岡市・南丹市・京丹波 町が開催地として選ばれました。

第43回全国都市緑化フェアin京都丹波 HP https://kyototamba-fair.jp/



## KIRI CAFE Special MENU



## KIRICAFEの「朝ごはん」

トーク形式の第1回、第2回は、 KIRI CAFE特製「朝ごはん」付き。 地域の旬なもの、採れたての野菜 を味わう、一汁三菜のプレートをご 提供します。

## Podcast

## 「みどりのテーブル」ポッドキャスト開設



『みどりのテーブル』がどこでも聞けるポッド キャストアカウントを開設します。 トーク形式の『みどりのテーブル』アーカイ ブを中心にSpotifyで随時配信します。 9月頃配信スタート。





かめおか霧の芸術祭

Kameoka KIRI Art Cultivation

KIRI









# Program List プログラム一覧



ジャンル	プログラムタイトル/ゲスト講師	開催日時/会場	参加費
《環境》	「公園ってなんだろう?」 山崎 亮 (studio-L代表) 村田周一 (高野ランドスケーブブランニング株式会社代表取締役)	9月15日(月·祝) 9:30~11:00 - KIRI CAFE	1,500円 (朝ごはん付き)
《芸術》	「小屋ができることについて聞こう」 家成俊勝 (dot architects) 安川雄基 (農小屋学会)	11月24日(月·祝) 9:30~11:00 - KIRI CAFE	1,500円 (朝ごはん付き)
《食農》	「冬の山の恵みを味わおう」 中東久人 (日本料理人)	12月7日(H) 9:30~12:00 - KIRI CAFE	3,000円
《環境》	「 <b>竹に触れてつくろう</b> 」 大野 宏 (Studio on_site 代表/建築家)	2026年1月17日(土) 13:00~17:30 - 開かれたアトリエ	2,000円

※プログラム内容は予告なく変更する場合がございます。 ※お申し込みは全て専用フォームより。

# Venue



#### 1. KIRI CAFE

〒621-0004 京都府亀岡市千歲町毘沙門向畑39

アクセス方法: IR 角岡駅より徒歩で40分。

JR 亀岡駅より車で約7分。※専用駐車場有り(無料)。 JR 亀岡駅より[京阪京都交通バス]で約10分。

(JR亀岡駅北口[川東線F11 JR千代川駅行]で「毘沙門」下車から徒歩2分) ※バスの出発時刻は、あらかじめご確認のうえお越しください。

【バスのご室内】

[川東線F11] JR 亀岡駅北口 8:55 分発 →「毘沙門」9:02着 下車から徒歩2分。







#### 2. 開かれたアトリエ

京都府亀岡市安町野々神8 亀岡市役所地下1階

IR 角岡駅から徒歩 15分. JR亀岡駅からコミュニティバスで5分「市役所」下車。 路線バス(京阪京都交通)で「亀岡市役所前」下車。

※バスの出発時刻は、あらかじめご確認のうえお越しください。





## 公園ってなんだろう?

山崎亮×村田周一

第1回はわたしたちの身近にある「公園」ついて考えます。

ゲストは各地で住民参加型のコミュニティデザインを行う山崎亮さん、 そして現在、亀岡駅北側の京都・亀岡保津川公園づくりに携わる村 田周一さん。お二人がこれまで全国で手がけてきた事例を交えながら、 「公園」という空間が私たちの暮らしとどのように結びつき、どのような 可能性を持つのか探っていきます。

申込締切:9月12日(金)23:59まで 申込方法:下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。

https://forms.gle/7YuxYBaXHZNrE8Ht8



9:30~11:00

(9:15 開場)

意 KIRI CAFE

定 20名 ※先着順

1,500円

(朝ごはん付き)

# 山崎 亮 (studio-L代表)

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学 院修了。博士(エ学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、

2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決 するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住 民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに 関するプロジェクトが多い。



#### 村田周一 (高野ランドスケーププランニング株式会社代表取締役)

2002年高野ランドスケーププランニング株式会社入社。2011年より 現職。JLAU理事。

北海道を拠点に、自然を愛し人の力を信じ、新たなランドスケープ空 間づくりや取り組みを多くの人を巻き込みながら実践中。美しく気持ち のよいランドスケープと共にあるActivityや暮らしを日々妄想しながら、 地球人として未来に責任を持ち設計や計画に従事。主なプロジェクト は「十勝千年の森」「恵庭花の拠点はなふる」など。



農

境

### 冬の山の恵みを味わおう

ゲスト講師: 中東久人

長年にわたり自然に寄り添った料理を続けてきた料理人の中東久人 さんをゲストに迎え、季節の恵みを味わう料理を体験します。今回の メイン食材は「ジビエ」。当日は猟師の方も参加予定。調理だけでなく、 食材のルーツや狩猟の現在についても学びます。完成した料理は、 皆でテーブルを囲んで味わいます。



申込締切:12月1日(月)23:59まで

申込方法:下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。

https://forms.gle/LmfP8W5BonxxieLJ6



#### 持 エプロン(もしくは前掛け)、 物 ハンカチ

9:30~12:00

(9:15 開場)

定 15名 ※先着順

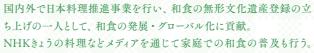
』 3,000円



#### 中東久人(日本料理人)

京都の奥座敷・花背の料理旅館「美山荘」の四代目当主。

1969年京都生まれ。高校卒業後、ブラッドフォード大学(米国)、パリ大 学(仏)でホテル経営学を学ぶ。三ツ星レストランなどでホール修業を 積み、ガストロノミーを学ぶ。帰国後は金沢の日本料理店での修業を 経て、家業の美山荘を継ぐ。



近年は地元である花背の地域創生プロジェクトを京都の大学・大学 生たちと取り組んでいる。

## 小屋ができることについて聞こう

畑に佇む農機具小屋、その必要に迫られてつくられた「小屋」たちは、 機能や使い手の技・知恵が詰まっています。第2回は建築家の家成 俊勝さん、空間デザイナーの安川雄基さんをゲストに迎え、芸術・建 築・コミュニティなどの視点から、小屋ができることを考えます。

実際に亀岡で行った小屋の調査や、新たに亀岡で始まる「小屋プロ ジェクト」についても伺います。



https://forms.gle/u3WMEW3MvoRuomYx7



家成俊勝×安川雄基

9:30~11:00 (9:15 開場)









1974年兵庫県生まれ。建築家。京都芸術大学教授。宮本佳明建 築設計事務所居候を経て、2004年dot architectを設立。アート、オ ルタナティブメディア、建築、地域研究、NPOなどが集まるコーポ北加 賀屋を拠点に活動。第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 (2016)にて審査員特別表彰を受賞(日本館出展作家)。第2回小 嶋一浩賞受賞。



#### 安川雄基 (農小屋学会)

1987年大阪府吹田市生まれ。2011年アトリエカフエ設立。「空間づ くりとコトづくり」をテーマに、建築設計・インテリアデザイン・展示構成・ 施工・家具製作から、ワークショップ企画・まちづくり事業参画など、ハ ードとソフトを行き来しながら活動。いろいろな技を持った人たちと協 働しながら、小さなものから大きなものまでつくる日々を送っている。 2022年より京都芸術大学専任講師。



## 「竹に触れてつくろう」

ゲスト講師:

土地にある「もの」とそこにいる「ひと」と共に、家具や建築から暮らし をつくってきた建築家の大野宏さんをゲストにお迎えします。今回は亀 岡の「竹」について学びながら、「全国都市緑化フェアin京都丹波」の 入り口として使用する竹ゲートのミニゲートをみんなでつくります。完成 したミニゲートは緑化フェアにも設置します。会場での組み立てもぜひ ご一緒しましょう。

を 申込締切:2026年1月14日(水)23:59まで 申込方法:下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。

https://forms.gle/HAW8omxrAa2G3SjP7



#### 大野 宏 (Studio on\_site 代表/建築家)

1992年生まれ。2018年滋賀県立大学博

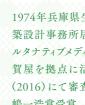


士後期課程単位取得退学。2019年より特 定非営利活動法人Studio on\_site 設立。 土地の「ひと」と「もの」で建築をつくる建築 家。全国各地で放置竹林をなんとかしたい と言う声を聞き、竹専用接合部「OKINA」 を開発し、様々な地域で活動中。2025年 開催中の大阪・関西万博で建築を設計す る若手建築家としても選出されている。









## 2026年

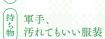
13:00~17:30

(12:45開場)













\*竹ゲートのイメージ